

奈良育英高

多様な文化に興味津津

米韓の国際交流員講演

奈良市法蓮町の私立奈良育英高校（米田安男校長）でこのほど、国際理解の講演会が開かれた。県の国際交流員を務めるアメリカ人のサマンサ・ジョンソンさんと韓国人の李映

曠（イ・ヨンミ）さんが来校。母国の文化や教育、生活ぶりや日本との違いなどを伝えた。

講演会は同校1年生約420人を対象に実施された。

同校体育館でジョンソンさんと李さんが母国と日本との違いについて説明。引き続き、1年の各教室に分かれて質問形式で生徒らと交流し、自国の文化などについて語った。

ジョンソンさんは、年下の兄弟を兄や姉が学校などに迎えに行くという米国での一般的な習慣を説明。李さんは韓国国内にはキムチが100種類以上あることなどを詳しく紹介した。

講演を受けた1年の女子生徒は「日本と違ったアメリカと韓国の文化を知ることができて楽しかった。校則や学食、放課後にするこはどの国も違っていて興味深かった」との感想を述べた。

母国と日本の違いについて話す国際交流員の2人（左）
＝奈良市法蓮町の奈良育英高校（同校提供）

